国立研究開発法人海洋研究開発機構　研究プラットフォーム運用開発部門

技術成果報告会

「海を知る」

ー 技術開発で目指す世界 ー

四方を深く広い海に囲まれた日本。
身近な存在である海に関する様々な話題が取り上げられる今、
私たちはもっと海を知り、理解していかなければなりません。

当部門では、「海を知る」ための様々な観測手法や機器の開発等に取り組んでいます。
これらの最新の技術開発の状況について、開発担当者が分かりやすくご紹介いたします。

2022 12.21 水 13:30-17:40

オンライン開催
(Zoom Webinar)

事前申し込みはこちら
締切：2022.12.19 (月) 17:00

第１部　自動観測システム

セッションチェア：西田 祐也 様
九州工業大学 生命体工学研究科　人間知能システム工学専攻
准教授

- **「うらしま」8,000m 級 AUV へ大改造！**　中谷 武志
- **超深海作業型ビークルシステムの開発に向けて**　前田 洋作
- **ウェーブグライダーによる無人観測の紹介**　福田 達也

第２部　観測を支える高度な技術

セッションチェア：松本 さゆり 様
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 港湾空港生産性向上技術センター
副センター長

- **水中音響通信の高速化の研究 ー600kbps x km を突破ー**　志村 拓也
- **海中光学技術がもたらす新たな可能性 ～レーザー光利用による成果と展望～**　石橋 正二郎
- **光無線装置による海底観測データの「収穫」**　澤 隆雄
- **小型水温・塩分・深度センサ (CTD センサ) と校正技術の開発**　馬場 尚一郎

第３部　最新の海洋要素技術

セッションチェア：和田 良太 様
東京大学大学院新領域創成科学研究科　海洋技術環境学専攻
准教授

- **機械学習による掘削状態把握**　井上 朝哉
- **海洋計測のためのマイクロ流体技術からマルチスケール流体技術への展開**　福場 辰洋
- **画像処理技術を用いた海中観測に関する取組みについての紹介**　各務 均

JAMSTEC 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology
MarE3 研究プラットフォーム 運用開発部門